

自己評価結果表【タイプA】（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目） I 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		自己評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
理念・基本方針がパンフレット・しおり・HPに記載されているが、利用者（特に子ども）への周知が図られていない。分かりやすく説明するといった取り組みも不十分である。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
運営方針には、国・自治体の施策の動向、人口動向、社会動向、母子生活支援施設の動向などを踏まえ反映させている。また様々なデータ収集にも力を尽くしているが、分析や具体策の実施については不十分な点もある。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	
【判断した理由・特記事項等】		

平成30年度に法人の中長期計画見直しを実施した。その中で一法人一施設の小規模法人であること、財務基盤が脆弱な指定管理施設であること等の課題を明確にし、具体的な取り組みを明らかにしている。その取り組みは可能なものから進めているものの、十分なものとは言えない。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
10年を長期とする中長期計画が作成されていて、定期的な見直しも行われている。しかし、具体的な数値目標や成果等を設定したり評価が行える内容になっていない。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
【判断した理由・特記事項等】		
中長期計画は、項目ごとに年次別に配置しており、単年度の計画を明確にしている。事業計画と予算は年度ごとに理事会・評議員会にはかかっており、事業年度終了後には、結果を事業報告・決算という形で同様に理事会・評議員会で議決してもらっている。本市の指定管理制度は指定管理期間全体の所要額を算出して申請・決定されることになっており、その意味で単年度計画と中長期計画の収支計画が連動している。ただし、数値目標、具体策を設定し、評価を行える内容には至っていない。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
中長期計画も単年度の事業計画もすべて、職員会議等で討議したうえで作成しており、その上で、事業年度終了後事業報告をしており、その評価も事業報告・決算書という形で職員会議等で報告している。しかし、その内容がどこまで職員一人ひとりに認識され、声が集約、反映されているかどうか改めて検証が必要だと認識している。		

②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
利用者の意見の聞き取りや集約に努め、事業計画等に反映させ、周知に向けての説明も行われている。しかし、理解しやすくするための工夫や母と子の参加を促す取り組みについても不十分といえる。		

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果
①	8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
日常的な取り組みについて、個々の利用者に対してはPDCAサイクルに基づく支援が行えていると考える。組織的な質向上に関する取り組みは職種間連携の点で不十分であると感じている。		
②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	
【判断した理由・特記事項等】		
令和元年度の第三者評価においては、①事業計画の策定・見直しのルールと数値目標の設定、特に重点項目に目標とする数値の設定がないことから期中での進捗評価は有効に実施されていない。②大規模災害時のBCPの策定が求められるの2点が指摘された。特に重点項目に対する目標数値の設定は内容的に不十分もあり、進展していない。大規模災害時のBCP、感染症発生時におけるBCPの策定は実施した。必要に応じた改善計画の見直しが今後の課題として残っている。		

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		自己評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b

<input type="checkbox"/>	施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	
<input type="checkbox"/>	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/>	平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長の役割や方針が明確化されているが、施設内の広報誌等に掲載され表明されていない。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設長は順守すべき法令等を理解するとともに、主管課、千種区福祉部、その他関係行政機関等との関係調整を行い、法令の改正等にも留意しながら、必要な都度法人規則の改正を実施している。また、職員に対する法令規則等の周知、具体的な取り組みを行っている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【判断した理由・特記事項等】

支援の質が向上するように職員に対してストレスチェック、SV、研修の機会を与えている。また、主任制を取り入れ、機能させるようにしている。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○

施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

【判断した理由・特記事項等】

一法人一施設の指定管理施設であることからくる人事・労務・財務上の制約、公益財団法人であることからくる会計上・制度上の制約から新たな事業の取り組みに困難を感じている。このような縛りがあるため、十分な対応はできていないが、可能な限り情報を開示し、課題解決の取り組みを進めている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果
①	<p>14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/>支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p><input type="checkbox"/>計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p> <p>(5種別共通)</p> <p><input type="checkbox"/>各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>「求められる職員像・能力」を明示した職員研修計画を策定し、同時に人材育成計画ともしている。計画に基づき、人材の確保と育成に注力しているが、職員間の経験や能力差が大きく効果的な人材確保や育成ができていないと言いはれ、臨床心理士をはじめとした専門資格を有する職員配置、法人・施設の将来構想を担う職員の育成など課題解決のための取り組みを進めているところである。</p>		
②	<p>15 総合的な人事管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。</p> <p><input type="checkbox"/>人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/>一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】		
<p>人事基準は「人事考課実施要綱」という形で職員に明示している。要綱に基づき、毎年職員の専門性、職務遂行能力、成果や貢献度等を評価し、職員の能力開発やひいては処遇改善を図っている。しかしながら、人事異動ができないという制約等から総合的な人事管理を行うということは困難な状況である。</p>		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	<p>16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>

<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員の有給取得率は高く、産休・育休・育児短時間勤務の取得も行えるようにしている。時間外勤務についても極力削減できるように努め、ワークライフバランスに配慮している。ストレスチェックも実施され、ハラスメント防止相談員の配置もされているが、面談等による希望の聴取の機会がもう少しあると良い。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

人材育成計画で、「求められる職員像」を明らかにし、人事考課実施要綱で職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを実施している。個別職員の面接は、目標設定時、中間、年度末の評価面接と段階を踏んで行っており、令和2年度からは主任を交えて行うように、評価にバイアスが掛からないよう取り組みを進めた。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

あらゆる機関主催の研修について情報収集に努めている。求められる職員像が盛り込まれた研修計画が策定されている。OJTの実施もなされている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○

	(5種別共通) □スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○
--	---	---

【判断した理由・特記事項等】

研修計画に基づき、職員一人ひとりが参加できるよう配慮されている。研修の案内は全職員に周知され、研修計画外でも参加したい研修に参加できるように機会が与えられている。OJTの実施もなされているが、新規採用職員向け・職種変更時に対応したものなどは用意されておらず、今後の課題といえる。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	□実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	□実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	□専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	□指導者に対する研修を実施している。	○
	□実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

指導者研修を受けた職員がおり、実習生受入マニュアルも整備されている。職種に合わせたプログラムの作成がされており、全職員で実習生に関わるようにしている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己評価結果
------------------------------	--------

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	□ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	□施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	□第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	□法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
	□地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【判断した理由・特記事項等】

ホームページの作成により、法人・施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報を公開している。第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容も公開している。改築移転により、新たな地域での関係づくりが重要な課題となっており、地域交流室も整備されていることから施設の資源を使った地域貢献に取り組む準備を進めていく。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	□施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	□施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	□施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	□外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設（法人）における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任を規則（規程を含む）や各種マニュアル等で明確にし、職員に周知している。税理士法人と顧問契約を締結しており、毎年、予算・決算時など助言を受け、相談に乗ってもらうなどしている。指定管理については、名古屋市監査事務局により、児童福祉施設としては毎年度主管課による指導監査を、公益財団法人としては愛知県監査指導室の法人監査を定期的に監査・検査を受けており結果は公表されている。充分行えていない内部監査の強化が課題となっている。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果
①	23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(母子生活支援施設)	
	<input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

これまで、職員が地域子ども会の役員を務めるなど学区との密接な関係を築き、地域行事にも積極的に計画段階から参加するなど利用者の参加の機会となっていた。しかし、移転改築に伴い新たに地域との関係づくりが必要となった。新たな学区には子ども会がなく、学区自治会との関係もこれからである。地域に向けた行事や学校・保育園などとの関係を通じ、信頼関係を築いていくことが今後の課題といえる。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

基本姿勢を明らかにするとともに、募集、事前説明、登録手続、期間、活動内容等の項目を記載したボランティア受け入れマニュアルを整備している。コロナ禍ではあるものの、可能な限りの活動受け入れを行っているが、ボランティアに対する研修や支援の取り組みにおいては不十分な点がある。

(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

「利用者支援マニュアル」や「児童支援マニュアル」などで可能な限り、地域の社会資源を明示しており、職員間の情報共有も図っている。各機関との連携は取れており、必要に応じ連絡会等が行われているが、定期的な実施には至っていない。また、退所後のアフターケア訪問と地域のネットワーク化への取り組みも今後の課題といえる。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

令和3年3月に移転改築したため、施設の多機能事業や関係機関・団体との連携、地域への各種会合への参加、地域住民との交流活動の構築を今後取り組んでいくところであり、それと並行して地域ニーズの把握や生活課題等の把握が取り組むべき課題となった。これまでは、電話相談の実施、ネットワーク会議への参加、保育園や学校との情報共有などを通じ地域ニーズの把握に努めてきた。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人が公益財団法人であり、施設は指定管理施設であるという二重の制約はあるが、国は一連の改革の中で、施設の多機能化を打ち出している。本法人・施設も地域のひとり親家庭への支援や、発達障害や不登校の子どもたちに対する支援を事業の方向性として考えており、地域のニーズの把握や具体化するための事業調査を計画している。また、災害被災時の地域住民に対する備蓄物資の提供など地域住民に対する支援の取り組みをマニュアル化している。

Ⅲ 適切な支援の実施

1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。

①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員が母親と子どもの権利に関する外部研修等に積極的に参加をしているものの、OJTの実施には至っていない。

②	29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
---	-----------------------------------	---

<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。	○

【判断した理由・特記事項等】

旧施設においては建物の構造上の課題があったが、改築により生活環境はとても快適になった。利用者向けの生活のしおり等もリニューアルされ、各家庭のプライバシーに配慮するよう説明をしている。

(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

施設のパフレットや「生活のしおり」を用意し、希望者には見学と施設説明を行っている。入所時には各担当者から母親、学童、保育についての説明を行っている。状況の変更時には再度説明を行っている。

②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【判断した理由・特記事項等】

母親に対しては支援の開始、課程において、複数の職員により同意を得る対応をしているが、子どもに対して同意を得る働きかけが不十分といえる。また、意思決定が困難な母子に対する配慮についてルール化にまでは至っていない。

③	32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○

	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○			
【判断した理由・特記事項等】					
退所後支援計画を作成し、相談先や方法を明記し説明している。関係機関にも情報提供を行い、積極的に社会資源とつないだ支援を行っている。					
(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 380 550 795">①</td> <td data-bbox="550 380 1348 795"> 33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 <input type="checkbox"/>母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。 <input type="checkbox"/>母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。 <input type="checkbox"/>職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。 <input type="checkbox"/>母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。 <input type="checkbox"/>分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。 </td> <td data-bbox="1348 380 1457 795"> 自己評価結果 b </td> </tr> </table>	①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。 <input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	自己評価結果 b	
①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。 <input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	自己評価結果 b			
【判断した理由・特記事項等】					
利用者に対する満足度調査の実施しているが、満足把握を目的とした個別面談の実施や利用者参画による検討会議実施には至っていない。					
(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 985 550 1534">①</td> <td data-bbox="550 985 1348 1534"> 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 <input type="checkbox"/>支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。 <input type="checkbox"/>苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。 <input type="checkbox"/>苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 <input type="checkbox"/>苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。 <input type="checkbox"/>苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。 <input type="checkbox"/>苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。 </td> <td data-bbox="1348 985 1457 1534"> b </td> </tr> </table>	①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 <input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。 <input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。 <input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。 <input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。 <input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	b	
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 <input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。 <input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。 <input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。 <input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。 <input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	b			
【判断した理由・特記事項等】					
苦情解決制度の資料の配布、説明は行われているが、苦情記入カードやアンケート実施まで行っていない。ただし、満足度調査の実施により、苦情等の意見を述べる機会となっている。実際に苦情として挙がる事例が少なく、機能しているかどうか不明確なところもある。					
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="395 1724 550 2004">②</td> <td data-bbox="550 1724 1348 2004"> 35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。 <input type="checkbox"/>母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 <input type="checkbox"/>母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 <input type="checkbox"/>相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。 </td> <td data-bbox="1348 1724 1457 2004"> b </td> </tr> </table>	②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	b	
②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	b			
【判断した理由・特記事項等】					

旧施設では建物の構造上の課題があったが、移転改築により相談室・面談室・談話室など内容に応じたスペースの確保ができるようになった。担当者以外にも意見を述べたり話を聞かせてもらう体制はできており、説明も行われているが文書の作成には至っていない。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

相談や意見に対して都度対応しており、組織的に対応できるよう相談マニュアルも整備されているが、不十分なところもある。また、意見箱やアンケートなど積極的な意見の取入れまではできていない。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

自己
評価結果

①	37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

ヒヤリハット・事故報告を作成し、改善・再発防止に努めているがリスクマネジメントに対する人員配置が整っておらず、組織的な安全確保や再発防止の研修、定期的な見直し・評価ができていない。

②	38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○	

【判断した理由・特記事項等】

感染症マニュアルを作成し、発症者に対する対応は整っている。日常的な感染症の予防対策は行われているが、勉強会実施実施までは至っていない。

③	39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的に 行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために 「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知さ れている。	
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【判断した理由・特記事項等】

BCPの作成、月に一度の避難訓練実施、マニュアル整備もなされている。緊急時に外出中の利用者の安否確認の方法が不明確な部分がある。

2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。		自己 評価結果
①	40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されてい る。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシー の保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底す るための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがあ る。	○

【判断した理由・特記事項等】

マニュアルが整備され、定期的な自立支援計画の見直しも行われている。記録・カンファレンス・面談等を通じて、支援内容実施の進捗状況確認を行っている。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定 められている。	
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるよ うな仕組みになっている。	○

【判断した理由・特記事項等】

利用者の意思確認をもとに、定期的な自立支援計画の見直しが行われている。マニュアルについても定期的な見直しはなされているが、見直しをする時期や方法の具体化がなされていない。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定して いる。	a

<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。	○
<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

アセスメント票の準備もなされ、適切なアセスメントをもとに自立支援計画の策定がなされている。自立支援計画の作成には関係機関からの意見も取り入れ、職員全員参加のカンファレンスにて検討している。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容（ニーズ）等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画の見直し時期が定められており、評価項目にて見直すべき課題を明確にしている。ケースカンファレンスは定期的に開かれ、検討されている。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

記録管理システムの利用、申し送り会議、職員会議などでの情報共有は行われているが、情報の流れが不明確な部分がある。また、記録マニュアルはあるものの、書き方の統一が不十分である。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○
【判断した理由・特記事項等】		
記録や個人情報について、適切に管理がなされている。しかし、職員に対する研修等を行われていない。		

内容評価基準（27項目） A-1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1)	母親と子どもの権利擁護	自己 評価結果
①	A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
マニュアルが整備され、学童には子どもの権利について説明の機会を設けている。虐待の定義についての説明も母親たちに定期的に行われている。		
(2)	権利侵害への対応	
①	A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。	○
【判断した理由・特記事項等】		

就業規則にも明示されており、不適切な関わりが起こらないよう権利侵害を防止している。

②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	b
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

利用者一人ひとりを個別化し、あらゆるサインを見逃さないように努めている。不適切な行為の防止について、具体例を挙げて注意喚起を行っているが、徹底には至っていない。

③	A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

子どもの様子に変化がないかサインを見逃さないように、充分留意している。子ども向け性教育の実施などは行われているが、全般的に子どもが自分自身を守ることができるようになるためのSST実施などには至っていない。

(3) 思想や信教の自由の保障

①	A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動等を強要していない。	○
	<input type="checkbox"/> 個人的な宗教活動等は尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

問題なく対応できている。

(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

①	A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。	

<input type="checkbox"/>	子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	○
<input type="checkbox"/>	活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	○
<input type="checkbox"/>	母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/>	母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

コロナ禍であるが、可能な範囲での母親の自治会活動を行っている。活動を通じて母親の自己表現力、自律性、責任感などに対して支援を行っているが、形骸化し不十分なところもある。また、子どもたちの自治会活動は行えていない。

(5) 主体性を尊重した日常生活

①	A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	a
<input type="checkbox"/>	母親や子どもの自尊心や強みを大切に支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

利用者の自己肯定感の回復、ストレングス視点に立った支援を行っている。

②	A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。	a
<input type="checkbox"/>	母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	○
<input type="checkbox"/>	母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	○
<input type="checkbox"/>	母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	○
<input type="checkbox"/>	母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	○
<input type="checkbox"/>	行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	○

【判断した理由・特記事項等】

コロナ禍の影響もあり、行事は縮小傾向であるが、原則的には季節の行事といった母子共通の全体的なものも行われている。その都度、行事が意味のあるものになるよう工夫し、評価・振り返り・見直しを行っている。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	○
<input type="checkbox"/>	退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	○
<input type="checkbox"/>	退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	○
<input type="checkbox"/>	退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	○

必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。

【判断した理由・特記事項等】

退所後支援計画を作成し、アフターケアを行っている。必要に応じて介入や同行などの支援も行っている。

A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本		自己評価結果
①	A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
家族として抱える問題をアセスメントし、心理療法担当職員からの助言やSVを活用し、課題理解や連携・協議は行っているが、経験の浅い職員が多く、専門的支援とは言えない部分もある。		
(2) 入所初期の支援		
①	A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	<input type="checkbox"/>	
【判断した理由・特記事項等】		
入所直後は関係づくりを重視し、一定期間の後に面談を実施して課題解決・自立に向けた支援を行っている。内容は各母子の置かれている状況に応じたものとなっている。		
(3) 母親への日常生活支援		
①	A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行動することで経験を補う等の支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/>	必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

母親各人の置かれている状況に応じた家事支援、同行支援、保育支援等がなされている。

②	A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a
<input type="checkbox"/>	母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	虐待や不適切なかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

常に情報収集に努め、各関係機関とも連携し母親のニーズに応じた声かけ、支援を行っている。

③	A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

個々に合わせた対応を心がけ、積極的に声かけをしコミュニケーションをとっている。利用者間のトラブルが起きた時には、必要に応じて職員が介入し解決を図っている。

(4) 子どもへの支援

①	A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活上必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

就労支援保育等を実施、また保育所に通えるように支援を実施している。学童においては放課後の支援・長期休暇中の支援を実施している。個別対応が必要な児童には必要に応じた配慮や工夫をしている。

②	A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個性を重視した相談・支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

建物の改築により学習室が整い、子どもたちが落ち着いて学習に取り組める環境が整備された。タブレット学習やにじのひかり教室を通じて子どもたちの学習習慣の定着を図っている。

③	A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	○
	<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	○

【判断した理由・特記事項等】

母親以外の大人（職員・実習生・ボランティアなど）に受け入れられる環境を提供できている。日常的な関わりの中で自分の気持ちを表現することを意識的に伝えている。様々な行事の実施により人との関係づくりについての支援も行われているが、専門的プログラムに基づくグループワーク実施には至っていない。

④	A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	○

必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。

【判断した理由・特記事項等】

外部講師を招いて年齢・発達段階に応じた性教育講座は行われているが、性についての正しい知識関心が持てるような支援は行えておらず、また施設内での職員間での学習会も行えていない。また、平均利用期間も短く、年齢に応じた計画等は立てられていない。

(5) DV被害からの回避・回復

①	A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

24時間体制で受入ができるようになっている。マニュアル等の整備もなされている。

②	A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

福祉事務所と協力し、利用できる制度は本人に情報提供をしている。必要に応じ同行や代行も行っている。

③	A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心し安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

生活環境を整え心身ともに安心できる空間づくりをしている。施設内カウンセリングを実施し、必要に応じ地域の医療機関や支援団体の情報提供を行い、協力体制構築に努めている。

(6) 子どもの虐待状況への対応

①	A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

必要な場合には施設内カウンセリングの利用について働きかけを行っている。子どもたちと個別に関わり、自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。

②	A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	
	<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

必要に応じて福祉事務所や学校・保育所などと連携して対応にあたっている。母子生活支援施設は利用に至る窓口が福祉事務所ということもあり、児童相談所との連携をより密なものとしていくことが今後の課題である。

(7) 家族関係への支援

①	A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

母子間、きょうだい間、他の親族との関係も含めた家族間の不安や悩みを受けとめ、必要に応じた介入を行っている。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

①	A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
	<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

医療機関をはじめとする様々な社会資源と連携し、配慮が必要な利用者に対し、より専門的なサポートが得られるよう対応を図っている。

(9) 就労支援

①	A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、パートバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

母子支援員を中心に母親の心身の状況に合わせた支援を行っている。専門機関(ハローワーク・生活保護就労相談員・自立サポートセンターなど)の利用も行い、本人の置かれている状況に合わせた就労支援を実施している。場合によっては、福祉就労にもつなげ、同行などの介入、福祉就労先の情報提供なども行っている。資格取得などスキルアップについての情報提供も行っている。

②	A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

母親の特性に応じて支援を行っている。また、就労に関する困りごとや気持ちを聞き取り、就労が継続するよう必要であれば職場との関係調整も行っている。